

KSKP THRESHOLD

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.30

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュホールドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です

Drug Addiction Rehabilitation Center
DARC

旅はまだ続く Still Journey Continue

非常に残念なお知らせではありますが、かねてより病氣療養中でありましたダルクの創設者である近藤恒夫氏が2022年2月27日の朝にお世くなりになりました。

このコロナ禍において、日本中のダルクで近藤さんを失った悲しみが私たちを包みました。そして今、私たちにある気持ちは、深い感謝しかありません。今の私たちは、講演に行けば先生と呼ばれ、保護観察所でも重宝され、依存症者にとって完全ではないですが、回復を支えてくれる方々も多くいます。が、近藤さんがダルクを設立した頃は、全く今とは違う環境だったと思います。犯罪者であり、薬物中毒者である私たちを受け入れる社会などありませんでした。ライト兄弟が空を飛べると言っただけにバカにされてるのと変わらない時代だったと思います。そこで、さまざまな苦勞をされてきてもダルクの門戸を開いてきてくれたおかげで今の私たちがいます。私は近藤さんにフィリピンで夜の散歩を一緒にしていた時に言われた言葉があります「いいか、お前たちの仕事は助かるやつを助けることじゃない。絶対に助からない奴に寄り添うことだ。それで助かったやつは同じように助からない奴を助ける生き方をするだろう」と。私はその言葉を忘れることはないでしょう。

近藤さんがいなくなったら、全国のダルクはどうなるのだろうか？という不安の声もありましたが、私が今思うのは、近藤さんへの感謝を私たちが忘れない限り、この絆は強固に繋がっていくと確信しています。今はただ感謝以外の言葉が見つかりません。きっと私たちのミーティングを笑い、タバコをふかしながらどこかでみているような気がします。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ インフォメーションセンター

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ 2F

共同生活援助(グループホーム)リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

姫路アディクションサポートセンター 〒670-0832 兵庫県姫路市双葉町 96 Tel 079-255-5033

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

冬の鳥取 おっちゃん

2月15日、私は施設長と仲間3人とで鳥取県のとある山中にあるロッジへと向かいました。そこは県内一の豪雪地で、10日程度前に下見に行った時は、一面の雪景色でロッジの屋根には2m近く雪が積もり、ウッドデッキの日差し屋根の雪降ろしをしないと大変な事になるので今回、雪深い山道を、かんじきを足に付けて歩いて登ってきた訳です。流石に10日程度では雪は全く溶けておらず、この雪を降ろすのは大変だなあとロッジの屋根の雪を見て思いました。ここ、鳥取のロッジは、去年5月2日から6月30日までの2カ月間仲間達と共に暮らしていた思い出深い所で、初めはキャンプ気分楽しく過ごしましたが、一週間も過ぎたころには、近くには、コンビニも無く、ジュースの自動販売機も車で、しばらく下りないと無いので、楽しい気分はすぐに失せてしまいました。「ここで2カ月仲間達と共に暮らすのか…」と少し憂鬱な気分になりました。電気・ガス・水道は一応通ってはいるのですが、水道はロッジのある所から更に山手の水源から長いホースを繋ぎ山の高低差を利用して通っていて、雨の日は砂が混じって濁り、時には詰まることも度々あって、なかなかの不便さをいられました。唯一の楽しみと言えば週1回スタッフが食糧の買い出しに行く時に便乗して、お菓子やジュース、週刊誌等を買ってきてもらえるのですが、まるで刑務所の差し入れのようです。今、思えば2カ月間も良く暮らせたなと思いますが、やはり一番の思い出は私の為に仲間全員がしてくれた事です。当時、私は自身が犯した罪(窃盗事件)の裁判中で、判決の前に大変ナーバスな状態でした。検察側の求刑が初犯にしては重く、もしかして実刑もありえるかも…と、弁護士の見立てに正直ビビっていました。そもそも私がここ、神戸ダルクに来たのは薬物依存症からの回復が目的ではなく、裁判で刑の執行猶予を得るための情状材料になれば…という下心で入寮したのに、これでは意味がないと、うなだれ落ち込んでいました。それを察した仲間達が私を励まそうと、皆で歌を歌ってくれたり、エイサーを披露してくれたり…私は仲間たちがしてくれた事に感謝して、その場で大泣きしてしまいました。何が嬉しかったかという私には内緒で密かに歌の振付を練習までしてお披露目だったという事。皆が何かと問題を抱えているアディクトであり、殆どが45歳すぎたおっさん連中で、中には還暦を過ぎたクリヤんや70過ぎのぐっさんまでが年甲斐もなく一生懸命になってしてくれた事、本当にうれしくて今も感謝しています。そんな思い出の地が冬になると、夏場の深緑の景色は一変して辺り一面の雪景色。ふもとの集落までは除雪されていて車で上がれますが、その先からロッジまでは歩いて登るしかなく長靴にかんじきを付けて歩いて登ることに。かんじきをはいても雪の深みに足を取られてなかなか進まず、30分掛けてようやくロッジにつき、ロッジの大屋根から日差し屋根までたつぷりと雪が積もっていて、これは早く雪を降ろさないと雪の重みでつぶれてしまう。ロッジへ着くやいなや早速雪降ろしに取り掛かるも、なかなかはかどらない。積もった雪の重みはかなり重く、若い仲間3人の力が頼りで足場は斜面で滑りやすく、油断すると雪と一緒に滑落する恐れがあり、案の定、仲間の一人が雪の塊と共に滑落し、下にいた私はその雪の塊の下敷きになる所でした。それでも皆で力を合わせて大屋根の雪は概ね除雪出来ましたが、今度は降ろした雪の処理は次回持ち越しとなり、道具を片付けて帰路に付きしました。皆、明日は筋肉痛で動けないことでしょう。



初めての給料 まーくん

ダルクに入って3年経つんですけど、最初に入寮者だったんですけど、2年くらい経ってから1人暮らしを始め、2カ月前からダルクの用務員になり、最初は須磨にある寮の掃除とかしていました。給与をもらうようになりました。最初は本当に貰っていいのかと思いました。給与をもらって嬉しかったです。その給料で靴を買いました。自分で頑張って働いたお金だから考えて使わないといけません。仕事は掃除とか付き添いとかしています。給与をもらうかぎりは頑張って仕事をしないといけません。これからもずっと仕事を続けられるようにしたいです。仕事をもらって感謝しています。仕事をして給与をもらえるなんて思ってもみなかったです。仕事をするのは給与をもらうこともですけど、ほかには掃除をしたら綺麗になって仲間に喜んでもらえること。そうなったら、給与をもらえる意味もあります。これからも給与がもらえるようにしっかりしていきたいです。自分では、頑張っています。掃除がちゃんとできる様になったら、次のチャレンジもしてみたいです。これからは、掃除をもっと綺麗にして、頑張りたいと思います。



ひとり暮らしを始めて くりやん



ダルクに来た頃は、何も分からないことばかりでした。分からないことは、話のわかる人に聞きながら、色んな話をしていました。たまにはスタッフと喧嘩をすることもあり、その頃は六甲の住まいから毎日車で春日野道にあるディセンターまで通っていました。そのうちにディセンターが長田に移り、グループホームのある須磨に移りました。グループホームの生活でもいろいろとありました。畑に行く日が多くなりました。いろんなこともあり、1年たった頃に自立に対しての準備が始まり、家庭用品を買いました。1月ごろに一人暮らし

でアパートに住みはじめたら一人になりました。一人暮らしになって携帯電話も持つようになりました。周りを気にせずになりましたが、でも少しは寂しいです。これから先、不安なこともあります。まずは無茶をせんように地道にやっと思い、金がなくてもないときは、我慢をしてできるだけ金を貯めるようにしたり、掃除、洗濯、身の回りを綺麗にしたいと思っています。今は、なるべくディケアの出発時間も時間を守っています。光熱費も水道代も携帯代も自分のお金から支払わないといけなかったのでお金をためることが大変だなと思っています。



焼肉食べ放題に行って タケ

近頃すっかり、冷えてきました。アディクトのタケです。久しぶりに焼肉食べ放題に行き、90 分間食べ放題、納得のいく食べっぷりでした。この日、朝、焼肉食べ放題と知って、食べることを控え、お腹をすかせていました。僕は普段から焼肉食べたいと思っていて、ついに、その夢が叶いました。僕は焼きレバーをあまり焼かずに少々焼いて食べるのですが、いい焼き具合で焼きレバーを食べることができました。食べ放題に付いていたカスタードプリンはとても美味しくて、プリンも久しぶりに食べました。たこ焼きも美味しかったです。でも僕は、甘いものは少し控えめにして、ご飯も食べず、焼肉なら炭水化物じゃないので好きなだけ食べました。でも、セルフサービスなので取りに行くのがめんどくさかったですが、カルピや塩タン、ハラミとか僕は好きなだけ食べました。ウメさんの席の近くに座っていて、ウメさんが焼いている肉の焼き具合を見て、焼き方を学びました。久しぶりの焼肉だったので美味しく感じました。焼肉屋のあと、中古屋さんにも行き、帽子とニット帽を買いました。買おうか迷った財布があったけど買えませんでした。次回も焼肉食べにいくことを楽しみにしています。



グリコピア見学 ヨネ次郎

僕は、よね次郎と言います。神戸ダルクにつながって 2 年 7 ヶ月になります。ダルクに入寮して以後、日々プログラムを受けて毎日を過ごしているのですが、先日、グリコピアの工場見学に行く機会がありましたので、その時のことを書かせていただきます。工場について入口につくと受付のお姉さんがいて、とても綺麗でした。ボクとしてはお姉さんを口説きたかったのですが、そういう訳にもいきませんでした(笑)。まずブリッツの製造過程についてですが、まるでラーメン屋かなんかのように白い棒が細長く美しい流動形を描き、焼き上げられたブリッツに霧状のスプレーみたいなものを吹きかけ、ブリッツは完成します。かくして出来たブリッツは美しく色、艶共に申し分なく味までは確認できませんが、きっと美味しいのでしょう…。そんなブリッツが、うちのディケアの近所の駄菓子屋では 150 円という安さで手に入ります。ブリッツの焼き加減は申し分なく箱にいたっては綺麗な長方形に取り出し口まで精密に計算された非常に美しいデザインですので是非、皆さんも買ってください。そういえばグリコにちなんだムービーも見ましたが全然記憶にありません。工場見学の最後にブリッツを一箱貰いました。工場見学で歩き回った後のボクにはとても美味しく感じました。普段運動不足気味ですので、なおさらです。それとブリッツ型の風船も貰いました。サイズはボクの身長ぐらいで、今はディケアに飾っています。二本あるのでたまにチャンバラに使われます。ともあれ「仲間」とともに周るグリコピアは、とても楽しかったです。これを読んで興味を持った薬物依存症の方々、僕らと一緒に薬物をやめていきませんか？



おせち作り タカ

繋がって 92 日になります。この度は入所して初めてのお正月を迎えるに当たって、施設長の梅田さんの奥さんのユウさんを中心に数人のメンバーでおせち作りをする事になりました。

私は入所前に横浜で一人暮らしをしていましたが、ご飯を炊いたり、おかずを作るだけで、本格的な料理や人に食べてもらう料理を作るのは初めての経験でした。分からないことだらけで指示してもらってもなかなか出来なくて大変でした。普通やったら年末なんかは家で過ごすのかと思ったら、ユウさんは奏音君、唯希君、いろはちゃんを連れて来ていて、スタッフの下菊さんの奥さんのアツコさんも理暖ちゃんと心暖ちゃんを連れて来て全員集合みたいな感じになっていました。オイーッス(笑) 入所者は家族と過ごす事が出来ないのので皆で集まってきてくれているのかと思うと有難いことやと思いました。お母さん同士で子どものランドセルどうする？話を聞いていると、そんな細かい所まで考えているのかと思い、驚きと母の愛を感じました。話題はないけど関西のおばちゃん風に「ちょっと聞いた〜！」って話に入ろうかと思いましたがやめました。ハイヤーパワーありがとう。(笑)

今時は家庭でも大変さとコストを考えると買ってくるのが多いように思いますが、美味しさよりも伝統みたいな物も大事なのかなと思いました。一年を通して目標を持って努力することはもろろんですが、昔の人は年初めに縁起の良い食材を使って験担ぎをして気分を高めていたようにも思います。衛生面でも気を使っていて、そこまでせんでもと、思うような所もありましたが、施設として絶対に食中毒は出されへんと、言っていました。総合的に考えて作らん方がええんちゃう？というような所をわざわざ作ってくれる所に男気を感じます。あっ！女やった！！(笑)大変失礼しました。



長田のディケア施設の 3 階で食事を作るのですが、階段の横にアディクトの遺影が飾ってありますが、29 日やったと思いますが、施設長が遺影の一つを持ってきて、この人は料理人やったんやけど今日が命日やねんといって、テーブルに遺影を置かせてもらってええかと頼まれました。この人は、人を大切に想う人なんだなと思うと共にこの写真の人の分も頑張らなアカンと思いました。

なんだかんだ言いながら、お節づくりもあっという間に終わり、階段脇の遺影も無事に戻りました。家の正月も父親との餅つきや母親の雑煮等の思い出はありますが、自分が参加

した事もあったか、こんなに楽しく思い出に残るお正月は初めてでした。たくさん作ったのもあって、食べるのが大変で最後にボケますのでゆうさんにツッコミお願いします。

「もう食事作りやめませんか？新弟子検査でもあるんですか？」

ハイ？

「こんなに食べさせて、いつから相撲部屋なってるん！(笑)」失礼しました。

以上、ありがとうございました。

節分 ヒロ

僕は2019年3月から神戸ダルクに入寮し自分の回復について日常を通じて学ばせて貰っています薬物依存症のヒロと言います。

今回のテーマ節分です。

鬼は外、福は内。

これが僕の昔からの認識。文化なんですけど当たり前のように今回も鬼は外、福は内。と鬼に豆を投げ退治しました。節分の準備のひとつに鬼のお面を作ったのですが、その時に自分の描いた鬼の顔を見てあれっ！優しい鬼やなあ～と感じました。僕は僕の中にある鬼とずっと戦ってました。

僕の中に潜む自我や自己中心性を嫌いそんな部分を僕自身なのに否定し続けてきました。両親が他界し伯父夫婦にお世話になりその時に置かれた環境、伯母の膝の中に伯母が僕を否定し続けていた感覚が僕の中に宿っていたんだと思います。

だから僕が僕自身を否定する。その事が癖になってて生きづらさのひとつだったように今は思います。

今はそう思ったりそんな嫌だった部分も僕の一部なんだと受け入れそんな自分自身を大切に守ってあげたいと感じ意識するように生きています。

自分の描いた鬼の顔を見て、あれっ！優しい鬼やなあ～と感じたのはきっと心の傷が少しずつ癒されてる証なんだと信じています。

鬼は内、福も内。

次にそんな優しい節分の後、もうひとつのイベントが卒業式でした。

ダルクプログラムの卒業です。

対象者が2人居て過去にダルクプログラムを最後まで修了した仲間は1人と言う事でもう1人の仲間が卒業番号2番僕が3人目の3番でした。

ダルクに入寮して3月で3年になります。

最初3ヵ月くらいの気持ちで飛び込みましたが年を重ねる度に沢山の仲間と出会い又別れもありました。

振り返るとそんな仲間との交わりが僕の宝物になっています。

今日一日共に歩んでくれている仲間感謝、神様に感謝。

ありがとう。



活動報告

2月

OJT 研修参加

リスクマネジメント研修参加

12の概念ワークショップ参加

群馬ダルクオンライン講座参加

3月

ひょうごこころの医療センター講演

ファミリーサポートグループオンライン家族教室

厚労省民間団体支援事業補助プレゼン

フィリピン・ブルート追悼ミーティング参加

とかちダルクフォーラム参加

神戸国際医療交流財団会議参加

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日

神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日

姫路無料家族相談 毎月第1火曜日

尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日

垂水病院すまーぶ参加 毎週金曜日

保護観察所すまーぶ 毎月第4金曜日

ヨーガプログラム 毎月1回



近況報告・活動予定

次号では、2021年度の助成金報告や、新しい活動拠点などをお伝えできるのではと思います。まだまだ、雪がちらつく季節ですが、つぎのニュースレターが出る頃には、桜や新緑で違った世界になるのでしょうか。タコス販売も始動準備に入れると思いますし、エイサーの練習も再開しました。鳥取のログハウスも雪が溶けて、修繕や小屋作りが待っています。2022年度には、グループワークもどんどんやっいていこうと、私の外の仕事を自棄していこうとも考えています。啓発活動も大切ですが、神戸ダルクの仲間達が、回復は楽しい。ということをも身につけられることの方が、わたしたちに委ねられた使命なのではないと思っています。

美味しいものを仲間と食べたり、話したり、ダラダラしたり、感動したりという生活 in2022 にしていきます

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュホールド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいました。漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年6回発行で2000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただければご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。

個人会員は1口 3000円(ニューズレター定期購読料を含む)からになります。刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談
相談の内容についての秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘留所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは24時間OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

高山 春江様 上内 鏡子様 兵庫県教育委員会事務局 体育保健課 保健安全・食育班 指導主事 西本 崇文様

千葉県の花家族会 高井 健夫様

(令和4年1月27日～令和4年3月10日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。不思議なもので、お米のストックがあると、本当に安心します。生活習慣病を気にしながらも、回復初期は食べて栄養をつけて体力的に回復するところから始まります。コロナ。まだまだ予断は全く許さず、少し行動範囲も広がったものの、自粛生活は続いています。ご家庭で余っている食料品(米、野菜、乾物、味噌、醤油など)から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。年末年始は刑務所から出てきた仲間たちが一般家庭のように暖かく正月を迎えることを目指します。回復の中で、普通の家庭の様に安心して家族でご飯が食べられる様な環境はもっとも回復支援に役に立ちます。外出が少ないため、ストレス発散には、どうしても食事が進んでいきます。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

新年、連続してのニュースレターの発行。それも記念すべき30号です。今回は、仲間達のダルクでの経験ばかりを集めてみました。そのまま書いているので、みんなの言葉になって読みにくいところもあるかもしれませんがご理解ください。色々な仲間たちがいます。生き方も違うけれど、これから生きていく生き方もそれぞれ違うでしょう。ですがそんな仲間が、依存症という病気が縁で、同じ時をここでは過ごします。こんな素敵な縁は、依存症にならなければ絶対に経験できませんでした。愛と感謝です。

神戸ダルク ニューズレター Threshold (出発点) Vol.30

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 森田晴規

印刷 プリントバック

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1部100円 年会費 3000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階